

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年9月30日
第34号

野球部 決勝で北照に惜敗

野球の秋季大会支部予選会で本校は2回戦、小樽水産に12-0（5回コールド）で勝利し、準決勝で小樽桜陽に4-0で勝利し、決勝に進んだ。決勝は北照と対戦し、1-3で惜しくも敗れた。



近藤くんのピッチング



高橋渉太くんくんのピッチング

盗塁成功



2回戦（9月23日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	計
小樽水産	0	0	0	0	0	0
小樽双葉	4	0	8	0	×	12

5回コールド

投手-捕手 高橋・近藤（2回）・平野（5回）、能登（5回）-鶴来
3塁打-大日方（1回）鶴来（1回）、加賀谷（3回）、
2塁打-近藤（3回）

準決勝（9月27日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
小樽桜陽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小樽双葉	1	1	0	0	0	0	2	0	×	4

投手-捕手 近藤・高橋渉（7回）-鶴来・
2塁打 大日方（7回）

決勝（9月28日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
小樽双葉	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
北照	0	2	0	1	0	0	0	0	×	3

投手-捕手 近藤・平野（3回）・高橋渉-鶴来

打順	氏名	守備
1	光股歩叶	セカンド
2	横溝太牙	ライト
3	菊地琉斗	ショート
4	大日方瑛滋	サード
5	鶴来莉玖	キャッチャー
6	館飛雄真	センター
7	清野寛太	レフト
8	加賀谷季希	ファースト
9	近藤琉唯斗	ピッチャー

つながらず打線を目指す
決勝戦、近藤琉唯斗くん、平野義人くん、高橋渉太くん、3人の投手リレーとなった。その立ち上がりで北照は確実に点数を取った。双葉はヒットなどで出塁するも得点できず、7回まで無得点。8回は高橋渉太くんの内野安打のあと、菊地琉斗くんのセンター前ヒットで1点を返した。



3年生も声をからして応援。「秋にしてはチームの一体感が出ている。安打数は上回り、ピッチャーも層が厚いので、勝負強さが必要」と言う。



大日方くんの力強いスイング

主将の長崎佳祐くんは「悔しいです。北照に負け続けているので、リベンジしたかった。今後、高野連のトーナメントが変更になり、北照との対戦は来春が最後になるかもしれません。だから、勝ちたかった。今後もっとチームとして団結し、現在32名の1・2年生と新入生でしっかり勝ちきるチームを作っていきたい。技術の向上はもちろん、しっかり土台になる身体を作っていきたい。今回、点を取りきれなかった反省を踏まえ、つながらず打線を作っていきたい」と語っている。



と語っている。他校との交流の中で、予算や部員勧誘のことなど参考になった」



菅野先生熱弁をふるう

新聞全道のリハ盛り上がる
新聞ワークショップ勉強に
9月20日、高文連石狩・後志支部合同新聞研究大会が北海商科大学で開催された。約110名の参加があった。
午前は全道大会の提言者からの発表に質疑応答する時間をつつた。午後は菅野昭浩氏（全国高校新聞年間紙面審査員）から高校新聞の作り方の講義を受け、グループごとに企画書、レイアウトを考えるワークショップを行った。